



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月30日

上場会社名 神鋼商事株式会社
 コード番号 8075
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 育廣
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 阿野 健二郎 (TEL) 03-3276-2036
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日 配当支払開始予定日 平成27年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	419,483	△1.6	3,013	△1.1	3,295	10.0	2,130	7.3
27年3月期第2四半期	426,458	3.5	3,045	22.1	2,997	35.3	1,985	97.3

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 1,170百万円(△50.5%) 27年3月期第2四半期 2,365百万円(△26.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	24.06	—
27年3月期第2四半期	22.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	245,330	46,501	17.6
27年3月期	259,786	45,692	16.4

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 43,150百万円 27年3月期 42,489百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	3.00	—	5.00	8.00
28年3月期	—	4.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	880,000	1.1	6,200	△8.7	6,300	△4.2	3,900	△1.9	44.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	88,605,625株	27年3月期	88,605,625株
28年3月期2Q	56,330株	27年3月期	55,423株
28年3月期2Q	88,549,453株	27年3月期2Q	88,551,140株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和等を背景に、企業収益の改善に伴う設備投資の増加や雇用・所得環境の好転など、緩やかな回復基調で推移しました。海外においては、米国経済は緩やかな回復を辿りましたが、中国をはじめとした一部新興国経済の減速から下振れが懸念され、先行きについては不透明な状況となっております。

このような環境の下、当社グループは、海外においては、韓国における非鉄金属部門の取引拡大を目的にアルミ板切断加工・卸売事業会社を子会社化し、また、ミャンマーにおいては同国の市場調査・情報収集を目的とした当社支店を開設するなど、アジアを中心にグローバルビジネス展開の基盤拡充を図ってまいりました。国内においても新たに非鉄卸売事業会社の子会社化を決定し、販売体制の強化・拡充を進めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は4,194億83百万円（前年同四半期比1.6%減）、営業利益は30億13百万円（同1.1%減）、経常利益は32億95百万円（同10.0%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は21億30百万円（同7.3%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①鉄鋼セグメント

鋼板製品は円安により海外向けの取扱量が増加しましたが、国内向けは減少し、価格も下落しました。線材製品は国内向けの取扱量は減少し、価格も下落したものの、円安を追い風として海外向けの取扱量が増加し、価格も上昇しました。

この結果、売上高は1,499億83百万円（前年同四半期比5.9%増）、セグメント利益は19億2百万円（同21.2%増）となりました。

②鉄鋼原料セグメント

輸入鉄鋼原料は取扱量が増加しましたが、価格が大幅に下落しました。冷鉄源は鉄スクラップの取扱量が減少し、価格も下落しました。チタン原料は取扱量が増加し、価格も上昇しましたが、合金鉄は取扱量が減少しました。

この結果、売上高は1,352億25百万円（前年同四半期比13.4%減）、セグメント利益は4億11百万円（同1.9%増）となりました。

③非鉄金属セグメント

銅製品は空調用銅管の取扱量が増加したものの、自動車向け端子材用銅板条、半導体リードフレームの取扱量が減少しました。アルミ製品は自動車向けアルミ部材の取扱量が増加しましたが、輸出用缶材、鉄道車両用アルミ部材の取扱量が減少しました。非鉄原料はアルミ地金の取扱量が増加しました。また、アルミ・銅スクラップの取扱量も増加しましたが、当期の急激な地金価格下落の影響を受けました。

この結果、売上高は1,100億12百万円（前年同四半期比10.2%増）、セグメント利益は5億98百万円（同2.4%減）となりました。

④機械・情報セグメント

機械製品はアルミ加工機械、小型蒸気発電機等の取扱いが減少したものの、金属成膜装置、製鉄関連資機材等の取扱いが増加しました。情報関連商品は液晶用電子材料、ハードディスク関連機材の取扱いが順調に推移しました。

この結果、売上高は334億84百万円（前年同四半期比1.7%増）となりましたが、連結子会社の採算悪化によりセグメント利益は1億6百万円（同52.4%減）となりました。

⑤溶材セグメント

溶接材料は国内の造船向けの取扱量が増加し、鉄骨向けも好調を維持しましたが、化工機、建設機械向けが減少し、輸出は中国の造船、自動車向けの取扱量が減少しました。溶接関連機器は汎用溶接機、鉄骨溶接ロボットシステムの取扱いが増加しました。生産材料は溶剤原料の取扱量は堅調に推移しましたが、海外向けステンレス材が減少しました。

この結果、売上高は195億88百万円（前年同四半期比2.3%増）となりましたが、海外における利益の減少によりセグメント利益は99百万円（同48.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は2,453億30百万円となり、前連結会計年度末比144億56百万円の減少となりました。これは主に前払金と受取手形及び売掛金の減少によるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は1,988億28百万円となり、前連結会計年度末比152億65百万円減少となりました。これは主に支払手形及び買掛金と流動負債のその他に含まれる預り金の減少によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は465億1百万円となり、前連結会計年度末比8億9百万円の増加となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成27年7月29日公表の業績予想から変更はありません。なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法について、当社は原則的な方法によっております。但し、一部の関係会社においては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。また、当第2四半期連結会計期間末の資本剰余金に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,635	17,009
受取手形及び売掛金	149,776	146,070
商品及び製品	31,083	29,404
仕掛品	312	383
原材料及び貯蔵品	589	737
前払金	12,736	6,554
繰延税金資産	789	727
その他	4,651	4,277
貸倒引当金	△132	△108
流動資産合計	218,443	205,055
固定資産		
有形固定資産	7,172	7,991
無形固定資産	1,062	887
投資その他の資産		
投資有価証券	29,849	28,350
その他	3,392	3,250
貸倒引当金	△133	△204
投資その他の資産合計	33,107	31,395
固定資産合計	41,343	40,274
資産合計	259,786	245,330
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	130,843	119,861
短期借入金	31,293	33,097
未払法人税等	1,384	697
賞与引当金	922	959
その他	23,401	15,486
流動負債合計	187,846	170,103
固定負債		
長期借入金	23,116	26,035
役員退職慰労引当金	54	52
退職給付に係る負債	693	694
その他	2,384	1,943
固定負債合計	26,248	28,725
負債合計	214,094	198,828

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,650	5,650
資本剰余金	2,703	2,703
利益剰余金	28,907	30,593
自己株式	△17	△17
株主資本合計	37,243	38,929
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,261	2,102
繰延ヘッジ損益	△44	37
為替換算調整勘定	2,029	2,081
その他の包括利益累計額合計	5,246	4,221
非支配株主持分	3,202	3,350
純資産合計	45,692	46,501
負債純資産合計	259,786	245,330

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	426,458	419,483
売上原価	414,010	406,142
売上総利益	12,447	13,340
販売費及び一般管理費	9,402	10,327
営業利益	3,045	3,013
営業外収益		
受取利息	18	66
受取配当金	386	582
為替差益	373	—
デリバティブ評価益	—	366
持分法による投資利益	137	173
雑収入	182	219
営業外収益合計	1,097	1,408
営業外費用		
支払利息	286	330
売掛債権譲渡損	295	226
為替差損	—	460
デリバティブ評価損	408	—
雑損失	154	109
営業外費用合計	1,145	1,126
経常利益	2,997	3,295
特別利益		
固定資産売却益	405	—
投資有価証券売却益	2	—
特別利益合計	407	—
特別損失		
固定資産売却損	—	10
投資有価証券評価損	—	2
会員権評価損	—	2
特別損失合計	—	15
税金等調整前四半期純利益	3,405	3,279
法人税、住民税及び事業税	1,283	1,033
法人税等調整額	124	33
法人税等合計	1,408	1,066
四半期純利益	1,996	2,213
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	82
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,985	2,130

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	1,996	2,213
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,077	△1,186
繰延ヘッジ損益	△81	81
為替換算調整勘定	△529	30
持分法適用会社に対する持分相当額	△97	32
その他の包括利益合計	368	△1,042
四半期包括利益	2,365	1,170
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,401	1,105
非支配株主に係る四半期包括利益	△35	65

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鉄鋼	鉄鋼原料	非鉄金属	機械・情報	溶材	計			
売上高									
外部顧客への売上高	141,588	156,116	99,791	32,914	19,143	449,554	199	△23,295	426,458
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	1	—	—	1	—	△1	—
計	141,588	156,116	99,792	32,914	19,143	449,556	199	△23,297	426,458
セグメント利益	1,569	403	613	224	193	3,004	22	△29	2,997

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおりません。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鉄鋼	鉄鋼原料	非鉄金属	機械・情報	溶材	計			
売上高									
外部顧客への売上高	149,983	135,225	110,011	33,484	19,588	448,293	179	△28,989	419,483
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	1	—	—	1	—	△1	—
計	149,983	135,225	110,012	33,484	19,588	448,294	179	△28,990	419,483
セグメント利益又は 損失(△)	1,902	411	598	106	99	3,117	△16	194	3,295

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおりません。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。